

令和5年度移管予定 幼稚園からこども園への移行を伴う 市立幼稚園の移管先候補法人募集の お知らせ



奈良市と教育・保育の理念を共有し、連携して
こども園を運営してくださる法人を募集します！

奈良市子ども政策課

1. 運営法人に求める教育・保育内容について

指定された運営法人は、その幼稚園でやっていた教育・保育と全く同じことをしなければならないのでしょうか？



全く同じ教育のやり方を求めているわけではありません。

奈良市と理念を同じくしてくだされば、その実現の方法については、指定法人の意向を踏まえていただけます。

ただ、運営方法の大幅な変更は、園の子どもたちや保護者の皆様の不安にも繋がりますので、その点への配慮はお願いしています。

2. 奈良市の教育・保育の理念について

奈良市の教育・保育の理念とはどのようなものですか？



奈良市の運営することも園では、「夢と希望をもち、変動する社会をたくましく生き抜く子どもの育成」を目指し、教育・保育を一体的に行っています。

子どもたちが社会の変化に柔軟に対応し、未来を切り開く力の基礎を培っていけるよう、年齢や発達に応じて、生活や遊びの中で、乳幼児期にこそ必要な経験ができる環境を提供しています。そして子どもたち自らが課題を見つけ、考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決していく力が身につくよう、援助しています。

3. 育児担当保育について

奈良市が0～2歳児の保育で取り入れている「育児担当保育」とは、どのようなものですか？



乳児期は、人生と人格の土台を形成する最も大事な時期です。

そのため、奈良市では、0～2歳児の保育では保育者が子ども一人一人と丁寧に関わられるように、同じ保育者が子どもに関わる「育児担当保育」を行っています。

「育児担当保育」とは、安心して身をゆだねられる環境の中で **特定の保育者による愛情深い関わり** を行うことです。そのことで子どもは生活に満足感を持ち、情緒を安定させます、この安定した人間関係が支えとなり、人間を愛し、信頼し、自尊感情を高めます。そして、これらの気持ちが子どもたちを「生きること」への意欲や、自立へと導きます。

4. 幼児の教育・保育の現場について

保育者はどのようなことを大切にして、教育・保育を行っているのですか？



幼児クラスでは、子どもたちが自ら遊びを選ぶ活動（自由選択活動）を重視し、子どもたちの気づきや「やってみたい」「こんなふうになりたい」という気持ちを大切にし、**主体的に遊ぶ** ことができるような環境づくりや援助をしています。



子どもたち一人一人の興味・関心を見取りながら、自分たちで遊びを創り出すことを大切にしているんですね。

5. 園長等管理職に求める経験について（努力義務）

「奈良市の理念を引き継ぐ」ことは、なかなか難しいことのように思います。どのように引継げばよいのでしょうか？



簡単に引き継いでいただけるとは、奈良市も考えておりません。園の子どもたちや教職員、保護者の方々の様々な気持ちを理解しようと努め、法人のこれまでの実績を生かしながら、奈良市と共にこれからの保育を創って行って下さる法人に運営していただきたいと考えています。

今回の募集については、移管後にこども園となるということで、園で働く先生や子どもたち、保護者さんの様々な気持ちを分かってくくださる法人に運営していただきたいとも考えています。

具体的には、運営法人には、可能な限り、認可幼稚園での**幼稚園教諭経験が10年以上**ある方、認定保育園での**保育士経験が10年以上**ある方をそれぞれ管理職として配置していただきたいと考えています。



奈良市の教育・保育についての考え方は、
「奈良市立こども園カリキュラム バンビーノ・プラン
平成30年度改訂版」にまとめています。
以下の、QRコードまたはURLから、ご覧になれます。



<https://www.city.nara.lg.jp/site/kosodate/101510.html>

奈良市 子ども未来部
子ども政策課 幼保連携推進係
電話：0742-34-4792
MAIL：kodomoseisaku@city.nara.lg.jp